

巳年

巳年生まれの仲間にインタビュー!!

- ①脱皮して新しい自分に!2025年の抱負
- ②教えてあなたのヘビーローテ!

犬山さくら保育園分会
森景那さん



- ①米粉のパンを作りたい
- ②無印のバターチキンカレー



犬山さくら保育園分会
前田由美子さん

けやきの木保育園分会
山田武弥さん



- ①自分らしさ全開の明るい1年にします! 生活習慣を整える! 特に睡眠改善。5キロ痩せること!
- ②食べ物: ポッキー・冬のくちどけ
曲: King Gnu 「Teenager Forever」



けやきの木保育園分会
伊藤登美子さん

- ①年々身体の動きが鈍くなっているけれど、この一年元気に保育士を続けること 身体が動き、気力のある内に”うたごえ”も楽しく続けたい 家の中の片づけを少しずつ進めたい
- ②今のお気に入り、アボカド・納豆・チーズトースト。毎日食べても飽きません!

可茂会分会
原和也さん (写真左から2人目)



仲間がいたらからこまで来れた

可茂会分会結成!

2023年12月、岐阜県労連に労働相談が入ります。可児市にある社会福祉法人可茂会(障害者の入所・生活介護など運営)で勤務をしている加納さん(現分会長)から、「不適切な支援やハラスメントをなんとかしたい」という内容のため、福保労が紹介されます。「みんなで困っていることを話す場をつくらう」となり、いつも一緒に相談してきた伊藤さん、原さん、そして愛知の障害職場の組合員で話しあいます。話しの中は「この状況が利用者のためになっていない」「職場の環境を改善して、風通しのいい職場風土にしたい」ということでした。

そして2024年11月27日、可茂会分会の結成通知と団体交渉の申し入れを行います。千田さんや他の職員も組合に入り、複数の仲間での状況が「おかしい」と声をあげる組織を結成しました。12月10日には団体交渉を実施、それまでにみんなで発言内容も考え、

新春インタビュー

福祉保育労の全国の仲間、みんなの生活を守るため、ストを構える議論を行い、法人提案を白紙撤回させた福島さくら保育園分会の桑原さん(当時分会長)にインタビューをしました。



福祉保育労福島支部 書記次長 桑原ひとみさん

きっかけは法人の賃金引き下げ提案
2016年、桑原さんが育休から復帰するタイミングで分会役員となりましたが、そのタイミングで法人から①55歳昇給停止、②一時金の引き下げ、③給与規定の引き下げ改定の3点セットの提案をされました。分会としても、どうしたらいいか議論を重ねました。回交では②については合意できないと明言してきま

り、3点セットでのむよう求められました。

労働者の権利を手にして闘う
法人の譲らない態度に、提案を合意しそうになったこともありま

なりました。しかし、合意しなかったのは「生活者としてどうか」という視点からです。桑原さん自身も子育て世代のため賃金が下がることは深刻な問題でしたが、これからここで働く人たちの生活のためにどうか、を大切に考えました。労働組合の最大の戦術である「スト」についても意見が出始めます。そういった中で、2021年に桑原さんが分会長になった際「法人からの提案当初からこれまですべてのやりとりを含めた白紙撤回」を求めました。思いを出しあう対話を怖れずに

「ストを構えて闘う」に至るまで、一枚岩だったわけではありません。提案から年数が経つにつれ疲弊した状況もあり、「そこまでしなくても」という声も出ました。しかし、東北地協の加藤さんがオルグに來た際に「ここまでよくがんばったね」と受け止めてもらえ、分会役員みんな「そうだよ、ここまで続けてきたからがんばろう!」と同じ方向をむく議論につながり、ストを構えた交渉につながっていきます。実際には、「こういつてきたら、「ストを決定する」と通告しよう」と決めていた回交で、法人側が白紙撤回を承諾したため、スト決行せずに分会員の生活を守ることができました。

(取材: 山本・西田)